

京都大學經濟學會

經濟論叢

第六十七卷 第一號

經濟社會學者としてのマックス・ウェーバー……………青山秀夫

明治後期の農村經濟……………堀江保藏

山本二三丸著「恐慌論研究」……………恐慌論研究班

昭和二十六年一月

時の農商務省農務局農産課長伊藤悌藏氏が福島縣で行つた講演の前置きの一句であるが(同著「日本農業論」一頁)、同時に當時の農業觀を代表するものでもあつた。そしてこの重要な産業の維持發展を圖るための根本方針は、あくまで在來の農業組織を維持して益々經營の集約化を進めること及び不毛地の開發にあり、この基礎の上に政府は農業政策を立て、農家を督勵したのであつた。

督勵事項は頗る多い。未利用地の開拓、農事團體及び農政機關の統一改善、農業教育の普及、農事及び作物品種の改良、地主の奮起及び地主と小作人の調和、共同經營、勤儉貯蓄、肥料の可及的自給、害蟲驅除、等。併しこれらはいずれも小農主義の基礎に立つて農民に勤儉力行を要求したものに外ならなかつた。本期の農業政策に至つては頗る微温的であつて、注目すべきものは僅かに耕地整理の實施、日本勸業銀行及び府縣農工銀行の設立、産業組合法の制定などであつた。これらの政策はある程度農家經濟の困難を緩和したかも知れないが、困難から免れさすには役立たなかつた。蓋し、その困難は手工的な過小農經營が資本主義的貨幣經濟に捲込まれることによつて生じたものであり、政策はこの點の打開にまで及ばなかつたからである。かかる間に農業は外形的には發達しながら、農村經濟は内面的に困難に陥り、その困難は大正以後にも及んだのであつた。

本號執筆者紹介

青山秀夫

京都大學教授

堀江保藏

京都大學教授

京都大學經濟學會役員

評議員長
評議員

(研究委員)

(研究委員)

(編集委員)

(會計委員)
(編集委員)

(編集委員)

(會計委員)

岸本誠二郎 (五十首郎)

青山秀夫

岡部利良

大野英隆

岸本英二

岸本英二

木波原正

佐田宣

靜田亮

島津恭

嶋津亮

田中真

田中真

出崎真

豐谷文

中積文

穗積文

堀江文

堀江文

前川文

昭和二十六年十二月廿五日印刷
昭和二十六年一月一日發行

實價金五拾圓

郵稅拾貳圓

編輯兼
發行人

前田昇三

京都市上京區大宮通一條
上ル西入榮町

印刷人

鈴木直樹

京都市中京區壬生花井町

印刷所

日本寫真印刷株式會社
京都市中京區壬生花井町

發行所

京都大學經濟學部內
京都大學經濟學會
振替口座大阪五〇五三九九番
日本出版協會會員
番號B一一一〇五六號

發賣所

株式會社
有斐閣
本店 東京都千代田區神田
神保町二丁目十七番地
電話九段⑧(〇〇三二三番
〇〇三四四番)
振替口座東京三七〇番
支店 京都市左京區北白川
農大電停前

本誌の購讀及び廣告はすべて有斐閣へ御申込み下さい

(禁轉載)

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. LVII, No. 1

January, 1951

- On the economic sociology of Max Weber.....
..... Prof. H. Aoyama
- On the Rural Economy in the Later Half of the Meiji Era...
..... Prof. Y. Hoie
- Humimaru Yamamoto ;
„ An inquiry of crisis theory ”
..... Research-group of
Crisis Theory

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)